

『イエス・キリストにフォーカスする』 教会の7つの本質④キリスト中心

(ヘブル12章2節) 2022.7.31.

『信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。
この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをもものともせず、
十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。』

<はじめに>

私たちは教会に、礼拝に何をしに来ているのか？ 何が満たされたら、喜びか？
主が私たちに願い求めておられる、喜んでくださる「礼拝」とは？
今日は、それぞれが自分自身に問い、自分自身の答えを受け取って欲しい。
(人と違っていい)。

I 信仰の創始者であり、完成者

①「信仰」

自分にとって究極的な価値や意味をもっている対象と全人格的な関係を持ち、
その対象に無条件に依存し献身する心的態度をいう。
経験できぬ不確実なものを主観的に確実であると思いつくことではない。
(コトバンク)

②創始者、スタート、信仰の土台、源、理由

③完成者、完成＝すっかり仕上げる。完了。成就。(コトバンク)

II 目を離さないでいる。

- ①フォーカスする。他のものがあってもイエス様だけを集中して見る。
- ②どんなお方なのか？ わたしと全人格的にどういう関係なのか？
- ③一時的、断続的でなくずっと「目を離さないでいる」状態の継続

III イエス・キリスト

- ①私にとってどういうお方か？ どういう関係か？
- ②イエスキリストは私に何をしてくださった？
- ③今イエス様に伝えたいことは何でしょうか？

<おわりに>

今日は沢山の質問をした。

メッセージの結論として答えを受け取るのではなく、自問自答して、自分自身で答え、
主がそれをどう思っておられるか？ をそれぞれ持ち帰って思い巡らして欲しい。